

『今時の若い者は…』

新緑まばゆい侯、各地で農作業風景が見られる青田の季節となりました。皆様には益々ご清祥の事とお慶び申し上げます。

おかげさまにて『龍門園かわら版』発刊3年目を迎える事が出来ました。本年も緑に関する情報や催し物のご案内等を掲載して参ります。親方の小言もない知恵を絞り、継続して参りますのでご笑読頂ければ幸いに存じます。

季語のひとつに春を「青春」夏を「朱夏」秋を「白萩」冬を「玄冬」という事を聞いた事がありますが、今回は春にちなんで青春のお話をさせて頂きます。「今時の若い者はなっておらん!」と年長者の会話に良く出る言葉ですが、紀元前2500年前に構築されたピラミッドの内部にも石工が刻んだ同じ言葉が残っているそうです。幾多の経験を積み、年月を重ねて大人になっていくというプロセスは仕方のない事かもしませんが、何千年も前からそうであるとすれば、人間は成長していないのかも知れません(?)私自身の若い時にもその言葉はとても聞きずらかった記憶があります。大人になっても自分は言わない様にしようとも決めていました。誰でも若い時代を経て今日があり若い時にどう考え、どう行動するかで人生の将来が決定される、それ程重要な青春を苦しみもがき頑張って生きて行こうと思っているのです。「青春丸」はどの時代でも一生懸命に漕いで来ているのです。

我が社には20代の若者達が9人おりますが、すべての若者が陰日向なくモノ作りに邁進しています。モチベーションの高さも全員もっており、自主的に段取り・設計・営業に取り組んでいます。『娯楽は花、仕事は根』と聞かせ、辛抱は当たり前と理解している様です。給金に依って女房子供を養い、親・家族を支え生活をしているという、プロ意識を全員持っています。バッターBOXでアキビをしているプロ野球選手を見た事がないとすれば、作庭現場もバッターBOXと同じ理屈と教えます。技を磨くより礼節が大切と教え挨拶は徹底しています。目を肥やせば腕は付いて来ると聞かせ、良い物探しをしています。ある時、作庭中の奥様からお電話を頂きました。「10時の休憩をしているのですが、作業中に打ち込んでいる時は真剣な眼差しだったのが、お茶を飲んでいる時は、60代の年長者も含め先輩たちと向かいあって和やかに笑っている、その光景を見て、久しぶりに清潔な気持ちになってつい電話をした」との事でした。お客様方には良く働くと、お褒めも頂いております。私とすれば、何にも増す掛替えのない喜びです。とにかく「今時の若い者は素晴らしい!」という実感を与えてくれる、我社の宝達です。

代表取締役 齋藤 千明

Events・Info.

とうほく蘭展 &バラとガーデニングフェスタ2007 ■1/25⇒29【5日間】

来場者が5万人を超えた今年のラン展、当社は販売・PR部門にエントリーし、優秀賞(日本園芸商協会会長賞)を受賞しました。

時間感覚を象徴する『苔』をテーマにしています。ヒノキとスギゴケを中心とした極めてシンプルな苔むした庭と、幽玄な枯山水とデッキ下には伏流水を再現しました。心を癒す自然の優麗と、作為との不均整をデザインテーマにしています。



杜の都づくり 第58回春の大植木市 ■3/24⇒4/30【38日間】

毎年、西公園で開催される恒例の「春の大植木市」。例年より1週間早く開催でしたが土日は大勢来場しました。当社の春の出展は銘石をメインに「わくわく泉」のネーミングで湧水セット、他にも耐久性・耐腐食性の強い天然木「ウリン材」のオリジナル作品やちょっと変わり種の草花・シェーンソーアート等々を販売しました。「あら!まあ!の感動体験」のスローガンで多くの来場者にPRしました。



シリ
一
メ
リ
ー
ス
(1)
講
七
話





提案型を目指して

H19年1月の業界誌「グリーン情報」に当社が掲載された内容の抜粋記事より

当社展示場『庭広場グリーンゲートガーデン』の取り組み

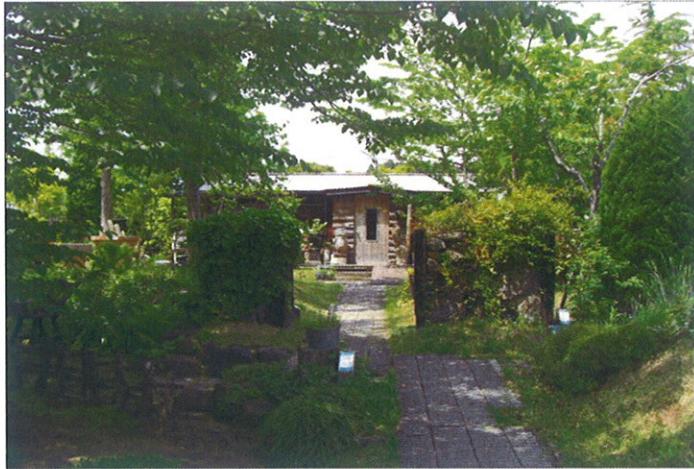
14年ほど前に、青森県内の牧場の雑木が伐採される運命と聞きました。いよいよ休耕田(6000m²)に移植したのが始まり。

シナノキ・カエデ・カツラ等樹形の整った雑木林の出現である。その後、共通の知人を介して、ガーデンデザイナー・矢野TEA氏と出会う。彼のアート的な感覚と、私のもったいない感覚がごく自然にマッチして、2000年グリーンランドーJPを立ち上げる。「庭戯」をテーマに「庭に森のリビングを作る」「街角に森を作ろう」の二本柱で、鳥や虫等の視点も含めた展開をスタートする。

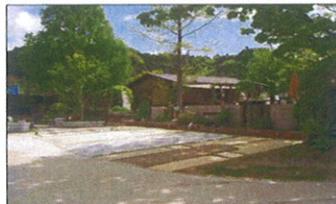
今日、広場内は樹木に囲まれた小さな森になっている。概要として、まずパーキングアラカルトコーナーに駐車する。市松模様や日本列島の縮図、ドアノブのある変なパーキングが出迎える。そして、木材市場で調達した、木のブロック端材と石を積み上げそこにワインの空瓶を突き刺す。蝶のマンション兼用のゲートがある。空瓶内は日中暖められ、夜になんでも冷めがたく、ビン内はポカポカ。遊び疲れた蝶が帰って眠る実用的なゲート。

センターハウスには工事用プレハブに製材時に発生する背板を貼り付ける。ランプの似合うログハウス風。見た目以上の効果があり、周辺の樹木には改築前の何倍もの小鳥が集まる。そしてシナノキの森にはアップと極端なダウンのアンジュレーションで胎内環境(?)を作る。自然石の大振りのテーブルを据え、マイナスイオンで居心地が良い。次に白壁で区切った天井のない部屋を作り、ついたてに「庭戯」のタイトルを掲げる。時間と共に白壁にさまざまな模様を描き出す。陰影も微風も感じ方はそれぞれで良い。ビオトープは恵まれた湧水を利用し黒メダカ・トンボが生息する。水草が浄化を促し、カワニナの住む小川を経て河川に戻す。池の周囲は子供の森の青空教室コーナー。小山を作り、井戸筒のトンネルを抜けると円筒型の黒板があり、無心に描く子供が多い。

そんな、ガーデニングとは少し趣きの異なる、小さな街中の森作りに取り組んでいる。目的を持った方・再来場の方々が多いのは嬉しい限り。現在グリーン・ゲート・ガーデン(G3)として尚一層の充実に取り組んでいる。



グリーンゲートガーデン センターハウス



パーキングアラカルト



子供の森



ビオトープ



リビング

シリーズ② 庭づくり基礎と術



庭のお手入れ法



5
月

樹木や草花も勢いを増し、それに負けじと雑草も繁茂。芝生の除草には各ご家族懸命に奮闘されている事でしょう。きれいな芝生は雑草の種をこぼさない、実る前の除草が必要になります。早春咲く、モクレン・コブシ・サクラ等には、お礼肥をあげましょう。もう来年の花芽の準備にとりかかります。

6
月

梅雨時期になると灌水は軽減されますが、病害虫の被害が目立ち始めます。必要最小限の薬剤散布が必要です。ツツジ・サツキ等の花がらはやがて実を結びエネルギーを相当使いますので、摘み取るか、刈り込みで形を整えながらの除却でもOK。速効性の肥料・液肥で滋養をつけてあげましょう。

7
月

アジサイ・シャラ・ヤマボウシ等それぞれ1番の輝きを放ち、庭を色どっています。土用に入る頃には強い日差しが照りつけ、水分が一気に失われ、ヤマボウシ等は、葉が丸まって蒸散を防ごうとします。樹木の様子を際し、夕方水をあげましょう。樹木の成長はそろそろ止まり、冬越の養分貯蔵を始めますので、整姿剪定は7月下旬頃から適期となります。



花芽分化時期(花芽のできる時期)を知っていると剪定する時期がわかります。自分でさみを入れてどのように答えてくれるか試してみては?

その年に開花する木

樹木	花芽分化	開花	樹木	花芽分化	開花
ハクチヨウゲ	3月下旬 ~4月中旬	5月中旬 ~6月上旬	ハクモクレン	5月中旬	4月上旬
アベリア	4月下旬	6月下旬 ~10月	フジ	5月下旬 ~6月下旬	4月下旬
ムクゲ	4月下旬	7月	ツバキ	6月上旬 ~9月上旬	10月下旬 ~5月上旬
サルスベリ	5月中旬	8月	カイドウ	7月中旬 ~8月中旬	4月中旬
サザンカ	6~8月	11~1月	ツツジ類	6月下旬 ~8月中旬	4月上旬 ~6月
キンモクセイ	8月上旬	10月上旬	ジンチョウゲ	7月上旬	4月上旬
			ソメイヨシノ	7月下旬	4月上旬 ~中旬
			コデマリ	10月上旬	5月上旬
			アジサイ	10月上旬 ~中旬	6月上旬 ~7月

発行 株式会社 竜門園

981-3111 宮城県仙台市泉区松森字前沼48-2

Tel. 022-373-3934
Fax. 022-375-9622

Email info@ryumonen.co.jp

URL http://www.ryumonen.co.jp

庭広場 グリーンゲートガーデン

981-3117 宮城県仙台市泉区市名坂字油田4-1

Tel. & Fax 022-373-5554

●営業時間／午前10時~午後5時

●定休日／毎週日曜日(月曜日が休日の場合は翌火曜日)

●入場料／無料・専用駐車場有

